



KWANSEI GAKUIN

MASTERY FOR SERVICE

2025-2026

学 院 案 内



学校法人 関西学院

キリスト教主義による全人教育で 幅広い視野を持つ世界市民を育成

関西学院は、幼稚園から大学までの教育機関を有する総合学園です。その教育課程、専門分野、教育目的、活動はさまざまですが、建学の精神であるキリスト教主義教育に基づく全人教育を行うという教育理念によって貫かれています。そして、“Mastery for Service”を体現する世界市民を育成するという使命において同じ目標に向かっていきます。

関西学院が大切にしているキリスト教主義教育とは、他者や他文化の多様性を理解し尊重すること、世界的な視野をもって持続可能な社会への変革に仕えること、そしてそれを実行する自分とは何者であるかを知ることです。

ますますグローバル化・オンライン化が進み、世界規模の問題解決が迫られる時代になってきました。この時代の中で、関西学院は、教育を通して、自らの課題を発見し、幅広い知識と深い専門性、生涯学び続ける力を身につけた世界市民を育成してまいります。

第18代関西学院院長
中道基夫



CONTENTS

関西学院のミッション	3
関西学院の歴史	5
数字で見る関西学院	7
未来に向けて「Kwansei Grand Challenge 2039」	9
関西学院の一貫教育	11
関西学院の学校紹介	13
学校間の連携強化	17
国際化を卓越したレベルへ	19
グローバルネットワーク	21
AI 活用人材の育成	23
SDGs 推進への取り組み	24
SDGs News Topics	25
大学：新生 KSC	27
大学：特色ある学び	29
関西学院の組織	31
キャンパス	33
アクセス	巻末

MISSION

関西学院のミッション



“Mastery for Service”を 体現する世界市民を 育成します

関西学院は、キリスト教主義に基づく「学びと探究の共同体」として、ここに集うすべての者が生涯をかけて取り組む人生の目標を見出せるよう導き、思いやりと高潔さをもって社会を変革することにより、スクールモットー“Mastery for Service”を体現する、創造的かつ有能な世界市民を育むことを使命とします。

Mastery for Service



創立者

W.R.ランバス

アメリカ人宣教師W.R.ランバスは1889年、キリスト教主義教育による全人教育を目指し神学部と普通学部からなる関西学院を創立しました。

世界市民

「世界市民」とは創立者W.R.ランバスのように他者と対話し共感する能力を身につけ、よりよい世界の創造に向けて責任を担う人々を意味します。



第4代院長・初代学長

C.J.L.ベーツ

カナダ人宣教師C.J.L.ベーツが提唱した“Mastery for Service(奉仕のための練達)”はスクールモットーとして大切に守られています。

Mastery for Service

“Mastery for Service”とは「奉仕のための練達」と訳され、隣人・社会・世界に仕えるため、自らを鍛えるという関学人のあり方を示しています。

HISTORY

関西学院の歴史



創立当時の学生と教員

1889

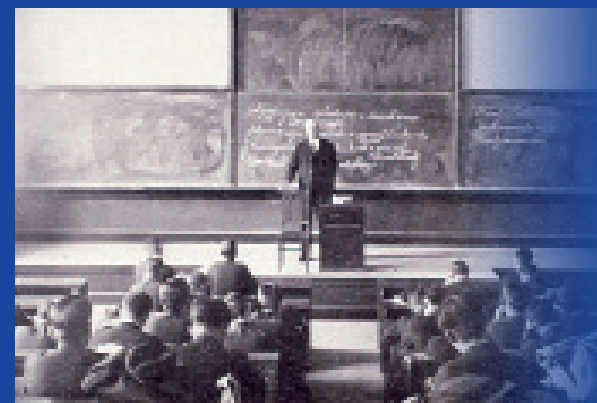
神戸の東郊・原田の森に
神学部と普通学部を持つ
関西学院を創立

- 1894 新月の校章を制定
- 1912 「専門学校令」により高等学部(文科・商科)開設
のちに第4代院長となるC.J.L. ベーツが
スクールモットー“Mastery for Service”を提唱
- 1929 上ヶ原(現西宮市)に移転
- 1932 「大学令」により関西学院大学の設立認可、
C.J.L. ベーツが初代学長を兼務、大学予科開設

- 1933 校歌「空の翼」発表
- 1934 大学法文学部と商経学部開設
- 1946 大学の機構を改め、文学部、法学部、経済学部の
3学部となる
- 1947 新学制により中学部開設
- 1948 新学制により大学、高等部開設
- 1951 商学部開設
- 1952 文学部神学科を独立させ神学部を開設
- 1960 社会学部開設
- 1961 理学部開設
- 1995 総合政策学部を神戸三田キャンパスに開設



上ヶ原移転当時の写真



ベーツ院長の倫理学講義

- 2009 学校法人聖和大学と合併
教育学部を西宮聖和キャンパスに開設
- 2010 学校法人千里国際学園と合併、国際学部開設
- 2011 Cross-Cultural College
(平成23年度文部科学省
大学の世界展開力強化事業)採択
- 2012 実践型“世界市民”育成プログラム
(平成24年度文部科学省国際化拠点整備事業
補助金)採択

- 2001 大学院言語コミュニケーション文化研究科開設
理学部が神戸三田キャンパスに移転、
翌年理工学部名称変更
- 2004 専門職大学院司法研究科(ロースクール)開設
- 2005 専門職大学院経営戦略研究科
(経営戦略専攻・会計専門職専攻)開設
- 2006 国連難民高等弁務官駐日事務所との協定に
基づき、日本で初めて難民を対象とする
推薦入学制度を設置
- 2008 人間福祉学部開設
初等部開設



実践型“世界市民”育成プログラム



神戸三田キャンパス上空写真

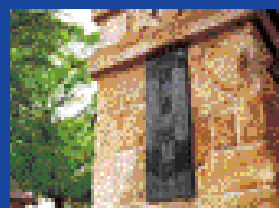
- 2014 創立125周年
平成26年度文部科学省
「スーパーグローバル大学創成支援」事業採択
- 2017 国連・外交プログラム/
大学院副専攻国連・外交コース開設
- 2019 西宮北口キャンパス開設
- 2021 神戸三田キャンパス再編
理学部、工学部、生命環境学部、
建築学部新設
- 2025 総合政策研究科国連システム政策専攻開設

校章



三日月をかたどった校章は、新月が満月に向けて変化するように、関西学院で学ぶ者が成長と進歩の途上にあることを表しています。また、月が太陽の光を受けて輝くように、私たちが神の恵みを受けて世の中を明るくしていきたいという思いも込められています。

校名の由来



日本全国にあるミッションスクールの多くが「英和学校」を名乗る中、慣例を破り、西日本の学術研究・教育機関のリーダー的存在になるように「関西学院」と名づけられました。英文表記は「KWANSEI GAKUIN」であり、現在でも漢音読みを用いています。

伝統を伝えるヴォーリズ建築



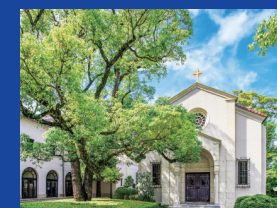
西宮上ヶ原キャンパスは、1905年に英語教師・宣教師として来日したW.M. ヴォーリズによって設計されました。赤い瓦屋根とクリーム色の外壁を特徴とする関西学院独特のスパニッシュ・ミッション・スタイルは、新しい校舎群やほかのキャンパスにも継承されています。

校歌「空の翼」



1933年に前年の大学昇格を記念してつくられたのが校歌「空の翼」です。関西学院同窓生の山田耕柞が作曲、詩人の北原白秋が作詞。この校歌が関西学院の精神を表し、多くの在学生・卒業生から親しまれています。

キリスト教主義教育



関西学院はキリスト教主義を建学の精神としております。世界的な広い視野と価値観を持って活躍できる人間形成への営みが、キャンパスのいたるところで展開されています。

動画「風に思う」



関西学院院長室からのメッセージ。関西学院の基礎となっている聖書には、わたしたちの魂に触れる言葉があふれています。一つの言葉を取り上げ、その言葉が現代のわたしたちに語るメッセージを短く、分かりやすく伝えます。

NEW DATA

数字で見る関西学院 (2025年5月1日時点)

学校数／学生・生徒・児童数

9校 / 29,847名

幼稚園	168名	千里国際中等部	227名
初等部	538名	千里国際高等部	284名
中学部	717名	大阪インターナショナルスクール	288名
高等部	1,149名	短期大学	228名
		大学・大学院	26,248名

教育・研究の国際連携

60カ国・地域 310を超える大学・ 国際機関と連携



詳細はこちら

海外留学派遣者数

2年連続 全国1位

関西学院大学では多様な留学プログラムを完備するとともに、留学希望者向けの奨学金制度など、支援策も充実しています。2014年から文部科学省スーパーグローバル大学創成支援事業による国からの支援もあり、留学する学生の数が増加し、2023年度は海外協定大学への派遣者数が1,775名となり、2018年度、2022年度に続き、2年連続、3度目の日本一となりました。

全国1位
2018年度 / 1,833名

全国2位
2019年度 / 1,632名

全国1位
2022年度 / 1,234名

全国1位
2023年度 / 1,775名

(2025年5月公表)
「日本学生支援機構2023年度協定校に基づく日本人学生留学状況調査」
2位 千葉大学: 1,448名 3位 立命館大学: 1,439名
4位 早稲田大学: 1,290名 5位 芝浦工業大学: 1,208名

就職率全国1位

全国1位

「大学ランキング2025」(朝日新聞出版)「就職率ランキング(規模別)卒業生2,000人以上」から卒業生4,000人以上の大学を独自集計。

就職率 99.8% 就職先への満足度 98.0%

就職率は就職希望者数のうちの就職者の割合です

進化するキャリア教育

キャリア、ライフデザインに対する考え方は、一朝一夕で醸成されるものではありません。入学後からさまざまな機会によって段階を踏み、一人ひとり自分の長所・強みを見つけ出し揺るぎない価値観を身につけるために、多彩なキャリア教育の機会を用意しています。

寄り添うキャリア支援

キャリア・就職支援としては、大規模なガイダンスの開催や年間約20,000件の個人面談、先輩学生による支援に加え、就職活動のオンライン化に対応するためのICTを活用したサービスも提供し、学生に寄り添う、きめ細やかなサービス体制を整えています。

研究力大学ランキング

私立7位

2023年に国際的な自然科学ジャーナル145誌に掲載された論文の数と内容をもとに順位付けされた指標「Nature Index 2024」ランキングで、国内の大学で32位、私立大学では7位に入りました。関西学院大学は将来構想「Kwansei Grand Challenge 2039」において、競争的環境により、世界トップレベルの研究を創り出すことに取り組んでいます。



将来構想

「Kwansei Grand Challenge 2039」

を実行

関西学院では、創立150周年を迎える2039年に向けて、学院のあるべき姿を示す「超長期ビジョン」とそれを実現するための方向性を示す「長期戦略」をまとめた、将来構想「Kwansei Grand Challenge 2039」を策定し、その取り組みを活発化させています。

2039年、日本は超高齢化社会になり、18歳人口が3割減少し、AI（人工知能）によって社会や仕事の在り方が劇的に変化します。このような未来予測と外部環境の分析等を実施し、「“Mastery for Service”を体現する世界市民の育成」というミッションステートメントに基づき、園児・児童・生徒・学生がどのような知識や能力、資質を身につけるべきか、そのためにはどのような学校であるべきなのか、を主題において本構想をまとめています。

どのような時代にあっても、人生の目標を抱き、高い知識・技能とともに、自らを律する「強さ」と、誠実さ・思いやりなど人格としての「品位」を兼ね備え、隣人・社会・世界に貢献する。関西学院の教育の最終目標は、卒業生がそうした「真に豊かな人生」を送ることにあります。そのために、学生は社会で活躍するための知識・能力・資質を卒業までにしっかりと身につけ（学修成果の修得）、大学はそれを保証する仕組みを確立し（学生の質の保証）、その信頼性の高さによって学生は自ら望む就職・進路を実現させる（質の高い就労）ことを長期戦略における中心課題としています。

詳細はこちら



超長期ビジョン9つのカテゴリー

Nine Categories

長期戦略33のテーマに中期計画として約80の計画

本構想では、「教育理念」をはじめとする以下の9つの超長期ビジョンカテゴリーを設定し、長期戦略として33のテーマを設け、長期戦略を具現化するための中期計画として約80の計画を実行しています。

1	教育理念	世界的課題の解決に挑む、「強さと品位」を持った人間を育てる
2	学士課程教育	社会や世界に貢献して「真に豊かな人生」を送るための基盤を創る
3	大学院教育	研究者と、社会から求められる高度職業人を輩出する
4	研究	競争的環境により、「世界トップレベルの研究」を創り出す
5	総合学園と一貫教育	建学の精神を共有し、幹の太い総合学園を実現する
6	産官学連携	産官学の連携強化により教育・研究のブランドを高める
7	国際化	伝統ある「国際性」を卓越したレベルに進化させる
8	学校経営	ガバナンス改革を進め、総合的マネジメントを実現する
9	DX(デジタルトランスフォーメーション)	デジタル技術を用いて教育・研究の質を高め、業務・サービスを変革する

Kwanseiコンピテンシー

Kwansei Competencies

すべての学生が身につけるべき知識・能力・資質

関西学院大学では、すべての学生が卒業時に学部で区別なく共通に身につけるべき知識・能力・資質を「Kwanseiコンピテンシー」として定め、これを大学の教育に徹底するものとして位置づけています。



関西学院の一貫教育

総合学園として理念を共有し
より良い社会に貢献する「世界市民」を育成する

関西学院は幼稚園から大学・大学院まで9つの学校からなる総合学園です。
関西学院の一貫教育においては、すべての教育段階において建学の精神であるキリスト教主義に基づく全人教育を行っています。



関西学院 幼稚園

キリスト教主義に基づく
幼児教育の実践
幼児期しかできない体験を
通して「生きる力」を培う

豊かな自然環境をはじめと
する愛を感じる空間で、
主体的な活動としての「遊
び」を中心とした保育を行っ
ています。

関西学院 初等部

Bible, Global,
Universal, Authentic
を柱とした
キリスト教主義教育

子どもたちが自らの意思を持
ち、社会や世界と調和して
生きていく力を育む教育を
実践しています。

関西学院中学部

キリスト教・読書・英語・体育・芸術を
柱に「感謝・祈り・練達」を
理念とした全人教育

これからの時代を生きる子どもたちのために、受
験勉強に縛られない、豊かな力を身につけます。
確かな基礎力と探究心、思考力、他者に奉仕す
る実践力を養います。

関西学院千里国際 中等部(SIS)

国際色豊かな環境で最先端の
教育活動を展開

さまざまな言語が飛び交う多文化共生という環
境の中で、OISとともに「知識と思いやりを持ち、
創造力を駆使して世界に貢献する個人」の育
成を図ります。

関西学院高等部

生徒の創造性と主体性を伸ばし
大学で学ぶための
学問的素地を培う

探究的な学びを実施し、大学や社会で必要な
力を育成するカリキュラムを展開。キリスト教主
義教育による人間性の陶冶、人権教育、課外
活動を通して総合的な人間性を醸成します。

関西学院千里国際 高等部(SIS)

中等部で培った基礎力をベースに
進路・興味に合った授業を履修

中等部・高等部ともに「5つのリスペクト」という
行動指針を設定。生徒自らの判断で行動する
力を養います。生徒自身が科目を選ぶ独自の時
間割システムで学ぶ意欲を引き出します。

関西学院大学・ 大学院

“Mastery for Service”を体現する
「世界市民」を育成する

高度な知識に加え、国際性と創造力、課題
発見・解決能力、実行力を兼ね備えた、地
域社会・国際社会の発展に寄与する「世界
市民」の育成に力を注いでいます。

関西学院短期大学

世界の子どもを幸せにする
実践力を持つ保育者を養成

少人数による授業、アドバイザー制度など、き
め細かな指導やサポートを実施。豊かな人間
性、専門性、実践力を兼ね備えた保育者を
育てます。

関西学院 大阪インターナショナル スクール(OIS)

日本初の
国際バカロレア(IB)全レベル認可校
主に日本在住の外国人生徒が学ぶ

多国籍の生徒・教職員がともに英語で学ぶ、国
際標準的教育プログラムを実施。卒業生の多くが
海外を中心とした著名な大学に進学しています。

関西学院の学校紹介

▶ 関西学院幼稚園

詳細はこちら



「愛されている自分」を感じ、喜びと感謝をもって、ともに歩む

教育理念

神様から命、個性を託された子どもたちを大切に守り育てるキリスト教主義に基づく幼児教育を実践。幼児期の「今」にしかできないことを、子どもたちが喜びをもって主体的に、友だちや保育者とともに経験する幼児教育を行います。

学び

子どもたちはいきいきと夢中になって遊びます。創意工夫しながら遊びを繰り返す中で、思考力、好奇心、探究心、創造性、自主性、自律性などを育みます。「知りたい」「やってみよう」という気持ちを丁寧に受け止め、主体的な遊びや心を動かす保育を行っています。あたたかな雰囲気の中で、ありのままの姿を認め、助け合い、楽しい事、悲しい事もともにする生き方を感じてほしいと願っています。



▶ 関西学院初等部

詳細はこちら



社会と人のために自らを鍛え、他者とともに歩む

教育理念

「幼子はたくましく育ち、知恵に満ち、神の恵みに包まれていた」という聖句のもと、あらゆる場面での人と人との関わりを大切にし、「社会と人のために自らを鍛え、他者とともに歩む」子どもの育成を図ります。

学び

キリスト教や聖書の価値観を学び、人を思いやる気持ちや感謝できる心を育てます。英語教育に力を入れ、コミュニケーションを楽しみながら異なる価値観の獲得を図るとともに、子どもたちが全員参加で主体的に問題解決を図る学習を実践。また、文化やスポーツ、芸術、自然に触れる機会を設け、豊かな感性を育みます。自分自身の存在の価値、友人の大切さを感じられる教育を行います。



▶ 関西学院中学部

詳細はこちら



「感謝・祈り・練達」をモットーに全人教育を展開

教育理念

正門付近には、おぼれた従兄弟を救うために海に飛び込んだ白木真寿夫少年像を設置。彼の行いは「友のために自分の命を捨てること、これよりも大きな愛はない」という聖句とともに中学部の精神として受け継がれています。

学び

「感謝・祈り・練達」をモットーに、神から与えられた命に感謝し、祈りをもって自らを養い鍛える全人教育を推進。創設以来、「師弟同行」をモットーに、毎日の駆け足やマラソン大会、体育大会、野外教育などで生徒が教員や大学生のコーチなどとともに汗を流します。キリスト教・読書・英語・体育・芸術に力を入れ、受験勉強に縛られず、豊かな力を身につけます。



▶ 関西学院高等部

詳細はこちら



他者に、世界に貢献できる人になる

教育理念

他者と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心や真摯な態度を備えた人格形成を目標にしています。関西学院大学への推薦制度に支えられ、さまざまなことに挑戦できる環境を提供し、バランスの取れた人間形成をめざします。

学び

探究型のカリキュラムを展開し、生徒の主体的な学びをサポートしています。関西学院大学との高大連携を推進し、大学の講義、プログラムを受講できる機会も設けています。



関西学院の学校紹介

▶ 関西学院千里国際中等部・高等部(SIS) 関西学院大阪インターナショナルスクール(OIS)



SIS詳細 OIS詳細

知識と思いやりを持ち、創造力を駆使して世界に貢献する個人

教育理念

帰国生徒、外国籍児童生徒、そして一般生徒が集うキャンパスは「小さな国際社会」です。互いを尊重しともに学ぶうちに、自己と異なる他者を受け入れる力が自然なかたちで身につく、「世界市民」として成長します。

学び

SISは文部科学省の学習指導要領に準拠した国際教育、OISはIB（国際バカロレア）とWASC（米国西部地域私立学校大学協会）に認定された学校としての教育を行います。Two Schools Togetherのキャンパスで、SISとOISの生徒がともに学ぶプログラムも数多く設置されています。日英バイリンガル環境も整い、言語力を含めた「コミュニケーション力」を大切にしています。

関西学院千里国際高等部は帰国生のための受け入れ（編入可）



▶ 関西学院短期大学



詳細はこちら

世界の子どもたちの幸せのために

教育理念

キリスト教精神に基づく人間性を備えた「保育の専門家」を育成。関西学院のスクールモットーである“Mastery for Service”のもと、隣人や社会、世界に仕えるため、自らを鍛え、世界の子どもたちの幸せのために貢献する人材を育てます。

学び

西宮聖和キャンパスは自然に恵まれ、多くの子どもたちが遊びにやってきます。学生たちは子どもたちを身近に感じながら、教育者・保育者としての感性を育み、学びを深めます。実習中心の実践的カリキュラムと少人数による講義によって必要な知識とスキル、責任感、使命感を育みます。伝統と実績で培ったネットワークを生かし、幼児教育・保育分野で高い就職率を実現しています。



▶ 関西学院大学・大学院



詳細はこちら 情報公開データ

「世界市民」として社会を変革する力を養う

教育理念

紛争や飢餓、環境破壊などの深刻な課題が山積する現代社会で、困難に果敢に立ち向かい、解決する人材の育成を図ります。W.R. ランバスの意志を受け継ぎ、思いやりと高潔さを持ち、社会を変革する人を育てます。

学び

西宮上ヶ原キャンパスに文系8学部、西宮聖和キャンパスに教育学部、神戸三田キャンパスに文理5学部を配置。学部での専門教育に加え、語学や各種留学などグローバル教育を推進する一方、AI活用人材育成プログラムや専門以外の分野を学ぶダブルチャレンジ制度、自らの将来のためのキャリア教育、国内外での社会貢献など、学生の可能性を開く教育を積極的に行っています。



学部・学科・大学院構成

学部

- 神学部
- 文学部
文化歴史学科
総合心理科学科
文学言語学科
- 社会学部
社会学科
- 法学部
法律学科
政治学科
- 経済学部
- 商学部
- 人間福祉学部
社会福祉学科
社会起業学科
人間科学科

- 国際学部
国際学科
- 教育学部
教育学科
- 総合政策学部
総合政策学科
メディア情報学科
都市政策学科
国際政策学科
- 理学部
数理科学科
物理・宇宙学科
化学科
- 工学部
物質工学課程
電気電子応用工学課程
情報工学課程
知能・機械工学課程

- 生命環境学部
生物科学科
生命医科学科
環境応用化学科
- 建築学部
建築学科

大学院

- 神学研究科
- 文学研究科
- 社会学研究科
- 法学研究科
- 経済学研究科
- 商学研究科
- 理工学研究科
- 総合政策研究科

- 言語コミュニケーション文化研究科
- 人間福祉研究科
- 教育学研究科
- 国際学研究科
- 司法研究科
(ロースクール)
- 経営戦略研究科
(ビジネススクール、
アカウンティング
スクール)

TOPICS

2025年4月には、総合政策研究科に「国連システム政策専攻」・理工学研究科に「建築学専攻」を開設しました。

学校間の連携強化

学院の人・資産を活用し 関西学院大学の精神を受け継いでいく

関西学院では幼稚園から大学まで、相互の関わりを大切にしています。
”Mastery for Service”の精神を受け継ぐために、
人の交流、教育の連携、施設の活用などを積極的に進めています。



人の交流

成長段階が異なる 生徒・学生が学び合う

初等部の6年生が中学部を訪問するイベントのほか、初等部・中学部・高等部に関西学院大学の学生・大学院生を派遣し、スポーツ活動の指導やキャンプの引率、学習支援などを実施。異なる年齢の交流を推進しています。



取り組み事例

- 幼・初・中×高 授業交流
- 幼・初・中×高 キャンプリーダー
- 幼×大・短 学生ボランティア
- 中×高×大 無人島キャンプリーダー
- 初・中×大 大学留学生訪問交流
- 中×高 高等部ICT委員による講習会
- 初・中・高×大 留学生多文化交流
- 大学生派遣(スポーツ活動協力)
- 高×中×高×大 大学生派遣(プログラミングワークショップ)
- 初×中 6年生親子中学部訪問
- 初×中 生徒会役員交流

教育の連携

大学の授業を体験 教員の相互派遣も実施

中学部・高等部、千里国際中等部・高等部、大阪インターナショナルスクールの生徒たちが大学主催の各種コンテストに参加できるようにするなど、教育面でも連携を強化。さらに学院内において授業講師派遣も行っています。



取り組み事例

- 幼・初・中・高×短・大 教育実習
- 高×高×大 授業科目提供
- 幼×短 教員派遣(子育て支援事業)
- 中×大 メンター派遣
- 幼×初×中×高×短×大 授業講師派遣
- 初×大 授業研究
- 中×大 オープンラボ(1日体験入学)
- 中×高×大 大学生授業補助者派遣
- 千×中×高×大 KGビジネスプランコンテスト

施設の活用

学院の諸施設の 利用が可能

学院内の中学生以上の生徒・学生であれば、大学図書館を利用することができます。大学の諸施設や三田市にある千刈キャンプを利用した行事など、関西学院のスケールメリットを生かした教育を活発に実施しています。



取り組み事例

- 中・高×短×大 大学図書館利用サービス提供
- 短×中×高×大 中央講堂イベント
- 幼・初・中・高×大 千刈キャンプ

TOPICS

教育連携部を新設し、 教育連携会議を定期開催

関西学院では学校間のさらなる連携強化をめざし、2024年度に教育連携部を新設しました。また院長を議長として教育連携会議を定期開催し、すべての学校長、園長が一堂に会して関西学院における一貫教育、総合学園としての教育連携について協議を行っています。

教育連携に関する主な取り組み

- ・「関西学院の一貫教育における基本方針」を制定
- ・各学校間の推薦入学制度に関する現状の共有
- ・初等部、中学部、高等部の児童・生徒を対象としたWebアンケートの一斉実施(年3回)
- ・初等部、中学部、高等部の教員を対象とした合同研修会を実施
- ・関西学院大学進学を志望する高校生を対象としたオールスターキャンプの実施
- ・各学校、園の諸課題、および各学校・園合同での行事開催について検討

国際化を卓越したレベルへ

文化・習慣の違いを越えて グローバルに生きる力を身につける

関西学院では学院内の学校で、国際化・グローバル教育を推進。
国・地域や言語、文化、習慣の違いを越えて、
真の「世界市民」として活躍するための素養・資質を磨きます。

各学校の主な特徴

▶ 関西学院初等部

- 1年生から毎日英語を学習
- 関西学院大学の留学生との交流
- カナダ・バンクーバーで全員がホームステイ
- 毎年1回英語検定にチャレンジ
- 韓国や台湾、インドネシア、オーストラリアなどの提携校との交流

▶ 関西学院中学部

- 英語弁論大会や海外交流活動を推進
- 英語授業数公立校の1.5倍
- 英語多読1年間、1人あたり40冊以上
- 日本人教員とネイティブスピーカー教員によるティーム・ティーチング(英語指導)



▶ 関西学院高等部

「探究」をベースとした海外での探究活動

- 長年に渡る海外提携校との交流事業
- 日本人教員とネイティブスピーカー教員によるティーム・ティーチング(英語指導)
- 海外の高校生とオンラインで一緒にプロジェクトを実施するPBL型授業の展開
- 高校生国際会議「IOM(International Online Meeting)」を毎年主催
- 関西学院大学の「高大連携科目」「英語インテンシブ・プログラム」などの各種授業が受講可能

▶ 関西学院千里国際中等部(SIS)

- 英語の学習はABC～ネイティブまで5つのレベル分け
- 世界各国・地域からの帰国生が在籍
- 1クラス約20名の少人数教育
- 日本で唯一、インターナショナルスクールと日々協働する学校

※1 国際バカロレア(IB)
国際バカロレア機構が提供する国際的なプログラム。世界に通用する教育を実施し、世界の大学進学資格が与えられます。

TOEIC®およびTOEFL®はエデュケーション・テスト・サービス(ETS)の登録商標です。この印刷物はETSの検討を受けたその承認を得たものではありません。

※2 グローバルチャレンジ制度は、「世界市民」を輩出するために、全学生に国内外でのインターナショナルプログラムへの参加を推奨する制度です。国際競争力の向上を目的に導入された、スーパーグローバル大学(SGU)創成支援事業(2014-2023)終了後、設置されました。



▶ 関西学院 千里国際高等部(SIS)

- 中等部での国際教育のさらなる展開
- 自分で作る時間割、生徒が企画運営する学園祭・運動会・修学旅行など、自主性を重んじる学びの環境
- 充実した帰国生サポート
- 関西学院大学以外に国内・海外へのさまざまな進路

▶ 関西学院大阪 インターナショナルスクール(OIS)

日本初小・中・高国際バカロレア(IB)認定校※1

- SISとキャンパスや学びの一部を共有
- 世界各国・地域からの児童・生徒が学ぶ
- 国内で最も歴史あるIB教育校のひとつ
- 世界で活躍できる生徒を育てる

▶ 関西学院大学・大学院

全学生に推奨されるグローバルチャレンジ制度※2 本学の国際性は卓越したレベルに進化

- 海外協定校への派遣学生数国内第1位を実現(2023年度実績)
- 60カ国310を超える大学・国際機関と連携した豊富な国際教育プログラム。学部・研究科でも専門を生かした多様なプログラムを提供
- アジアで初めて「国連ユースボランティア」へ学生派遣
2013年度からは国内大学の学生派遣の拠点に

- 学部副専攻「国連・外交プログラム」の提供と「関西学院大学国際機関人事センター」での手厚いキャリア支援で国際公共・国際協力分野のリーダー輩出へ
- 総合的な語学力を高めるインテンシブ・プログラムや学内でのTOEIC®、無料受験機会の提供で学生の英語力向上を後押し
- 世界各国・地域から年間約1,500名の留学生を受け入れ。キャンパス内で国際交流ができる正課外制度が充実。
- 外国人留学生と寮生活をしながらサポートを行うレジデントアシスタント制度の導入等で、留学生との融合機会を拡大
- キャンパス内で、留学生とともに学ぶ科目を多数提供

TOPICS

第7回「学生が選ぶキャリアデザインプログラム アワード」で 文部科学大臣賞を受賞

関西学院大学とカナダの4大学(トロント大学、クイーンズ大学、マウント・アリソン大学、ウェスタン/キングス大学)は、バーチャル・カレッジ「Cross-Cultural College(CCC)」を協働で運営しています。この度、CCCのプログラム「Global Internship in Japan(GIJ)」が文部科学大臣賞を受賞しました。また、「Certificate Program」は第2回オープンバッジ大賞優秀賞(教育機関部門)を受賞。デジタル証明書は世界標準規格に準拠しています。詳細はパンフレット(QR)をご覧ください。



詳細はこちら



グローバルネットワーク

世界の大学・国際機関と連携 相互交流する協定校ネットワーク

世界に開かれ、世界と共生することを目標に、世界の大学・国際機関と学生・教員の相互交流を図っています。
これまで培った海外の協定校ネットワークを生かし、国際ボランティアや外国語研修など多彩な留学プログラムを展開しています。
(2025年5月現在)



詳細はこちら

世界60カ国・地域、310を超える 大学・国際機関と連携

ヨーロッパ
Europe
99

中東
Middle East
2

アジア
Asia
112

北米
North America
65

アフリカ
Africa
3

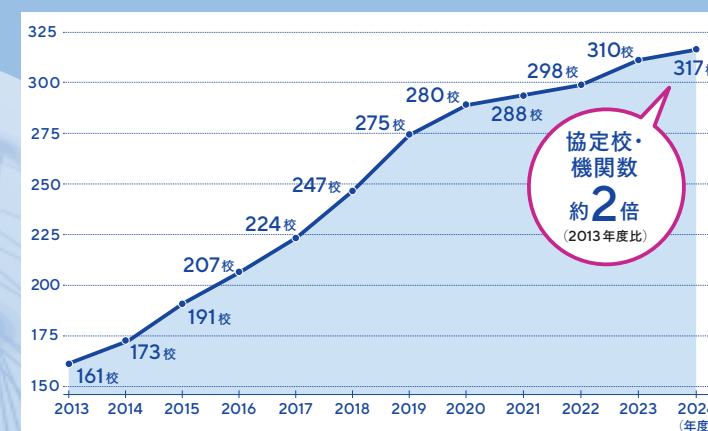
国際機関
International
Organization
7

中南米
Latin America
9

オセアニア
Oceania
20



【協定校・機関数の推移】



関西学院大学の教育の質が世界で認められ「協定校・機関」との連携が増えています。協定校・機関であることは、例えば、留学の金銭的な負担が少ないことや留学先で修得した単位が関西学院大学の単位として認められるなど学生にとって大きなメリットがあります。

TOPICS

特色ある海外プログラム

アジア初

▶ 国連ユースボランティア

関西学院大学は、世界で3番目、アジアで初めて国連ボランティア計画（UNV）と協定を締結。これまでに多くの学生が世界39カ国の国連諸機関で約5カ月間、プロジェクトに従事しながら「世界市民」になるための資質を実践的に養っています。

2つの学位

▶ ダブルディグリー留学

国際的環境で学びたい学生や、海外の大学院への進学を考える学生にとって大きな魅力のダブルディグリー留学。本学在学中に海外の協定校に1.5～2.5年半留学し、正規のカリキュラムを履修して、関西学院大学と海外の協定大学の2つの学位が取得できます。（社会学部、商学部、国際学部が実施）

AI活用人材の育成

AIを学び、AIを活用して ビジネス課題・社会課題を解決できる力を育む

AI(人工知能)の発展により、Society5.0と呼ばれる新しい社会が目前まで来ています。
AIを駆使し、イノベーションを起こす力を持ち
Society5.0を率先して切り拓く人材の育成を図ります。



詳細はこちら

中高大連携のAI&プログラミング教育

中学から大学まで連携してAI活用スキルを学ぶ

AIやIoT、ロボット、ビッグデータなどの革新技術をあらゆる産業や社会に取り入れることにより実現する新たな未来社会 Society5.0 を切り拓く力を養うために、中高大で連携して、AIを活用できるスキルを身につける先端的な教育を実施しています。



AI活用による社会問題の課題解決

SDGsの目標を達成するためにAIを活用

Society5.0を牽引し世界で活躍できる人材育成を目的とした先進的なカリキュラムで、連携校、企業、国際機関などと協働し、AIの活用により社会問題の課題を解決できる能力を培います。



AI活用人材を育成する類のない先端的教育プログラム

全学生に「AI活用人材育成プログラム」を開講

AI・データサイエンス関連の知識を持ち、さらにそれを活用して、現実の諸問題を解決できる力を育むために、文系理系問わず全ての学部生に「AI活用人材育成プログラム」を開講。2021年より企業や自治体にもプログラムを提供しています。



SDGs推進への取り組み

国際目標SDGsへの貢献は 本学の理念の達成に通じる

「世界を変えるための17の目標」である「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に向けて、学院の営み全体を通じて貢献し、
スクールモットー“Mastery for Service”を体現します。



KG SDGs
キャンパスサポーター



SDGs
情報発信 HP

SDGs × 研究

多彩な連携を通じて SDGsに貢献する

SDGsの17の目標達成に向け、広範な課題に対し、学外の組織と協力して取り組んでいます。例えば、豊田通商株式会社との連携による、次世代パワー半導体材料の欠陥を無害化する技術の開発(工学部・金子忠昭教授)や、富士通株式会社などとの連携による、5G・VR・水中ドローンを活用した遠隔授業プロジェクト(教育学部・丹羽登教授)など、さまざまな研究が成果を挙げています。

SDGs × 教育

SDGsへの関心を育み 実践に繋げる

関西学院大学では、2021年度からSDGsに関する入門科目を全学生対象に開講。また、学生によるSDGs推進組織「KG SDGsキャンパスサポーター」と大学が連携して実践的な取り組みを始めています。初中高においても、SDGsへの理解を深めるプログラムを設置。併設校・継続校の卒業生が大学のSDGs関連団体に入り、地域のみならず海外でも活躍しています。

SDGs × 経営

誰もが輝けるダイバーシティ社会に向けて

これまで学院では、男女共同参画を中心に、女子学生および女性研究者のキャリアパスの拡大に積極的に取り組んできました。「関西学院大学女性研究者研究活動支援者」制度や「関西学院内保育施設ばふら保育園」の創設などを経て、2019年度より「ダイバーシティ推進本部」を設置。ダイバーシティ社会の実現へ向けて、さまざまな取り組みを推進しています。

TOPICS



国際協力分野の リーダー輩出をめざす

大学に国連・外交統括センターを設置し、高校・大学・大学院・修了後を通貫する人材育成プログラムの提供やキャリア支援を実施しています。国際機関職員や外交官など、国際協力分野におけるリーダーの輩出をめざしています。



他大学・機関等と 連携した取り組みの推進

関西学院は、県下で初めて総合学園として「ひょうごSDGs Hub」に加盟し、地域の自治体や企業との連携を進めています。大学は関西のみならず全国規模のプラットフォームにも参画し、教育プログラムの開発に取り組んでいます。



KSCをSustainable Energyの一大拠点に

神戸三田キャンパス(KSC)では、キャンパス全体でサステナビリティへの取り組みを推進しています。2025年4月には「Hydrogen Energy Research Institute」を設置し、次世代エネルギーの一つである水素の研究を強化しています。

SDGs News Topics

「関西学院大学SDGs宣言」に基づき、大学で多様なプロジェクトを進めるとともに、2024年から「サステナビリティ推進本部」を新設し、学院を挙げた取り組みを構想しています。



2回目となる本学生対象のSDGsアイデアコンテストを開催 大学生・大学院生を含む8組の学生が多彩なアイデアを発表

2024年10月19日、関西学院大学サステナビリティ推進本部は、2023年度に引き続き、本学生を対象としたアイデアコンテスト「関西学院SDGsユースアイデア2024 Crescents Go Sustainable!」の公開最終審査・表彰式を開催しました。当日は、約70名の聴衆を前に、8組の学生が「持続可能な社会の実現」をテーマとしたアイデアを発表しました。審査員5名による審査の結果、中西麻緒さん(国際学部1年)の「地球を変える・人を繋ぐお弁当～おかずカップで世界を救うプロジェクト～」(概要：通常はプラスチック製の「おかずカップ」を食品廃棄物から作ることで環境への負担を減らす取り組み)が最優秀賞(および賛同企業のサラヤ株式会社賞・セキセイ株式会社賞)を受賞しました。優秀賞には、岡笑叶さん(国際学部2年)の「貧困を理由に夢を描けない子どもをなくしたい」が、奨励賞には、経済学部栗田ゼミチームの「SAMBATRA Notebook ～健康手帳×アルバムでマダガスカル農村を豊かに!～」が選ばれました。



KGオールスターキャンプを実施

2024年8月7日～8日、関西学院千刈キャンパスで院内校・継続校・提携校の高校生がSDGsをテーマとしたディスカッション・ポスター作成などを行いました。参加者からは「SDGsを前よりも身近に感じられた」という声が聞かれました。



SDGs for Childrenによる 小学校訪問

千里国際中等部・高等部のクラブ「SDGs for Children」が、豊中市および大阪市の市立小学校を訪問し、6年生・5年生に対して難民問題などに関する特別授業を行いました。授業の中では、児童とともに啓発ポスターの作成に取り組みました。



SDGsイノベーションサミット in 西宮

2024年6月から2025年2月にかけて、西宮市大学交流協議会事業「SDGsイノベーションサミット in 西宮～大学生の視点から未来を描く～」が実施されました。本学を含む同協議会加盟校の学生有志15名が、市内におけるSDGs関連課題を実地調査し、解決策の提案や市民への啓発を行いました。参加学生らは、北部地域・食と畑・再利用の3つのグループに分かれ、実地調査・取材を行うとともに、にしのみや市民祭りにも出展し、「西宮の魅力・SDGsへの取り組み」などを紹介しました。2024年12月8日に西宮市大学交流センターで行われた成果発表会では、約30名の市民の方々にお集まりいただくとともに、西宮市長からプロジェクトの講評をいただくことができました。今後は、学生有志による任意団体として活動を継続する予定です。



六甲バター株式会社と 脱炭素演習科目フィールドワークを実施

関西学院大学は、一般社団法人Green innovationとの連携による脱炭素演習科目の一環として、神戸ワイナリーにおいて、六甲バター株式会社との連携により、廃棄チーズを活用した有機肥料などについて学ぶフィールドワークを実施しました。



オンラインプログラム「海外生命環境学 プログラムB～SDGs Workshop～」を実施

関西学院大学は、理系学生を対象としたオンラインプログラム「海外生命環境学プログラムB～SDGs Workshop～」を海外協定大学と実施しました。今年は、里山活動をテーマに、三田市での生物観察・英語でのオンライン発表を行いました。



ひょうごグローバルユースラボが始動

2024年7月3日、兵庫県庁において、「ひょうごグローバルユースラボ」の設立総会が開催されました。本事業では、本学を含む県内の大学生が企業などのSDGsに関連する課題について統計分析や調査を実施し、解決のための提言を行います。



国連ユースボランティア(UNYV) 20周年記念シンポジウムを開催

2024年11月30日、関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスにおいて、「UNYV 20周年記念シンポジウム」を開催しました。UNYVは、本学が国連ボランティア計画との協定に基づき、開発途上国の国連機関に学生を派遣するために構築したプログラムです。



大学：新生KSC

神戸三田キャンパス



KSC特設サイト

KSC FEATURE 1

2025年4月「C-ビレッジ」誕生



インキュベーション施設【S-ベース】1 2

創新寮【G-ドーム】3 4

大学・地域・企業連携の可能性をひろげ新たな価値を創造する 学生寮 × インキュベーション施設



C-ビレッジ詳細

2025年4月、関西学院大学神戸三田キャンパス(KSC)近接地にCo-Creation Village (C-ビレッジ)が誕生。C-ビレッジは、起業を志す人々を産学官民の連携によって支援するインキュベーション施設「Spark Base【S-ベース】」、300人規模の学生寮「創新寮 Genesis Dorm【G-ドーム】」や24時間利用可能なフィットネスジムを備えた知的創造空間として、多様な人が集い、枠を越えて共創する拠点をめざします。S-ベースでは、学生や教職員だけでなく自治体、企業、住民が集い、交流・協働しながら、「アントレプレナーの育成」「研究成果の社会実装」「地域課題の解決」に取り組み、地方創生に資する社会変革の実践拠点をめざします。また、アントレプレナーシップを涵養する多彩な教育プログラムを展開します。さらに、起業を志す人々に対して場所、情報、コンサルティング、ネットワークなどを提供し、起業に向けアイデアを磨くステージ、実際に事業を立ち上げるステージまでを支援します。

KSC FEATURE 2

キャンパスを越えた学び

世界最高性能の放射光実験施設SPring-8と連携

ナノテクノロジーの研究や産業利用まで幅広く使われる大型放射光施設SPring-8。関西学院大学では、放射光利用研究にかかわる人材を育成するために、1年生から先端科学技術に触れ、放射線業務従事者の安全教育から研究の基礎、データ解析などの一連の内容を修得できるプログラムを提供しています。SPring-8のビームラインでの講習では、教員の研究に参画して学びます。



SPring-8 実験の様子

理工学研究科 × JAXA

高度な研究水準の現場で研鑽を積む

私立大学では西日本唯一となる、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)との連携大学院協定により、世界最高水準の研究者の下、大学院生が小惑星リュウグウの地質解析を行うなど最新の研究に取り組める環境が整います。初期宇宙の謎を解明する研究では、米国航空宇宙局(NASA)と連携し、独自開発した望遠鏡を観測ロケットで打ち上げ、「宇宙赤外線背景放射」を観測するなど、研究活動の場は広がっています。



JAXA 宇宙科学研究所での研究発表の様子

※2025年4月現在

KSC FEATURE 3

国境を越えた学び

海外研修や 国際プログラムを拡充

KSCではさらに学部専門分野に即した国際プログラムが充実しています。離島へ行き、南方海域特有のサンゴ礁や海洋生物をダイビングをしながら観察するプログラムや、世界各地の建築・都市計画を世界で学ぶことができるプログラム、シリコンバレーにてイノベーションを起こす起業家精神を体験できるプログラムなど、独自の教育が整います。



ウダヤナ大学
(インドネシア)



スマランディボネゴロ大学
(インドネシア)



アデレード大学
(オーストラリア)



マラヤ大学
(マレーシア)



Google 社
(シリコンバレー・米国)

KSC FEATURE 4

新たな価値を創造する学び

アントレプレナー育成プログラム@KSC 今、社会で求められる“起業家精神”

新たなビジネスの創造に挑戦する起業家(アントレプレナー)は、社会に変革をもたらす、次の時代を切り拓く力を生み出します。KSCでは文理の境界を越え、起業家精神を育む独自のプログラムを構築。卒業後に自らのアイデアで起業することも視野に入れた、“起業を実践する”という、従来の大学という枠をも越えた学びを実現します。

■スタートアップアカデミー for KSC

「学習×実践」の積み重ねで経営スキルを徹底的に学びとり、起業家への最初の一步を踏み出す。起業に必要な実践スキルを養う正課外プログラム。

■ベンチャー起業家講座

理系学生が科学・技術を実社会の課題解決に結びつけるための知識や考え方を身につける正課授業。ベンチャー企業で株式上場を果たした起業家12人のリレー講座。

LEARNING AT KGU

大学：特色ある学び

主専攻（学部・学科）の学びに加え 次代を切り拓くために必要な力を養う学びを推進

関西学院大学は時代の変化や社会の要請に応え、その教育を進化させてきました。
主専攻（学部・学科）の学びに加え、独自の教育プログラムを用意して、学生一人ひとりの未来に向けた学びを推進しています。



AI活用人材育成プログラム

関西学院大学と日本IBMが共同開発した「AI活用人材育成プログラム」。必要とされるAI活用人材（AIやデータサイエンス関連の知識を持ち、それらを活用して現実の社会課題やビジネス課題を解決できる人材）を育成します。



アントレプレナー育成プログラム

新たなビジネスを創造する力を育むアントレプレナー育成プログラム。理系・文系関係なく起業に必要な知識やスキルとして経営学・知的財産・AIなどを学びます。プログラムでは、実際に事業を立ち上げて収益を上げることまでめざします。



海外研修・留学プログラム

多様で独自の留学プログラムを完備するとともに、留学希望者向けの奨学金制度などの支援も充実しています。近年は海外協定大学への派遣者数が全国1位になるほど留学しやすい環境が整っています。



主な海外プログラム

- ・ダブルディグリー留学 本学と提携先大学の2つの学位を取得
- ・国連ユースボランティア 国連諸機関で約5カ月間、実践的に学ぶ
- ・交換留学 自分の専門分野を現地の学生と学ぶ
- ・学部提供プログラム 各学部の学びの特色を生かしたプログラム
- ・Cross-Cultural College カナダの大学の学生と企業の課題に挑む
- ・海外インターンシップ 現地の日系企業などで就労体験を行う

国連・国際機関等へのゲートウェイ

国連・国際機関と連携し、学部生対象のプログラムと大学院生向けの総合政策研究科国連システム政策専攻[※]および大学院副専攻プログラムを設定し、実践的なカリキュラムを提供しています。



副専攻プログラム／他学部履修

幅広い観点から社会的課題への解決策を導き出す力を養うために、最短4年で2つの学位が取得可能なマルチプル・ディグリー制度や、複数分野専攻制などの多くの学びの機会があります。



全学科目

これからの社会に必要なAI・ICTスキルを修得したり、普遍的な学びである平和や人権についての考察を深めたり、教養を深め、将来に生かせる科目を提供しています。



ハンズオン・ラーニング・プログラム

本プログラムは、国内で唯一、関西学院大学が提供する教育プログラムです。現代社会に必要な「問い」を設定し、考え、行動するというもの。地域・団体と連携し多数のプロジェクトを提供しています。



学内国際交流

関西学院大学では、1,400名以上の留学生がともに学び、キャンパスにしながら国際交流を実現しています。留学生と一緒に学べる融合科目を開講。また日常的に触れ合える交流の場も多数用意されています。



言語教育

効果的な英語学習ができる「英語インテンシブ・プログラム」のほか、学術論文を読んだり、研究成果を発表するために必要な「理系のための英語」など、世界11の言語と日本語が履修できます。



地域・社会貢献活動

“Mastery for Service”を体現するさまざまな貢献活動を提供・実施しています。災害支援ボランティアや地域の子育て支援、開発途上国への支援など、一部は学びともリンクして盛んに行われています。



関学スポーツ

体育会活動を「正課外活動（大学における講義以外の多様な教育）」と位置づけています。安全性・競技力の向上やスポーツでの国際交流など、教育的価値の高いプログラムを提供し、豊かな人間性を育みます。



※2025年4月 大学院 総合政策研究科 国連システム政策専攻（修士課程）

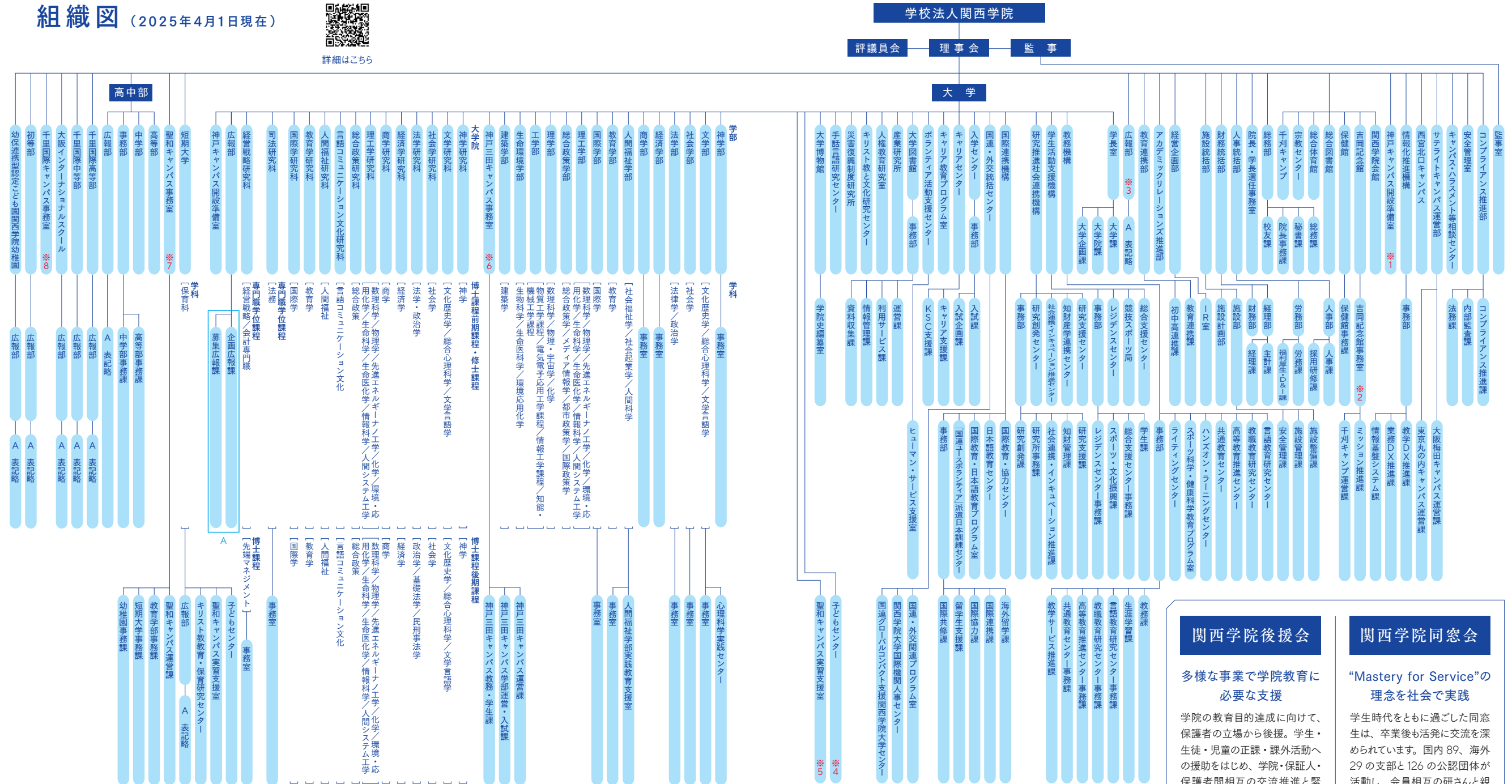
ORGANIZATION

関西学院の組織

組織図（2025年4月1日現在）



詳細はこちら



(注) ※1 神戸キャンパス開設準備室は大学の神戸キャンパス開設準備室業務も担当。 ※2 吉岡記念館事務室は宗教センター、千刈キャン、キリスト教と文化研究センター、ボランティア活動支援センター及び人権教育研究センターの事務業務を担当。 ※3 広報部は大学、短期大学、高中部、千里国際高等部、千里国際中等部、大阪インターナショナルスクール、初等部及び幼稚園の広報業務も担当。 ※4 子どもセンターは短期大学の子どもセンター業務も担当。 ※5 聖和キャンパス実習支援室は短期大学の聖和キャンパス実習支援室業務も担当。 ※6 神戸三田キャンパス事務室は理工学部、総合政策学部、理学部、工学部、生命環境学部、建築学部、理工学研究科及び総合政策研究科の事務業務を担当。

※7 聖和キャンパス事務室は教育学部、教育学研究科、短期大学及び幼保連携型認定こども園関西学院幼稚園の事務業務を担当。 ※8 千里国際キャンパス事務室は千里国際高等部、千里国際中等部及び大阪インターナショナルスクールの事務業務を担当。

関西学院後援会

多様な事業で学院教育に必要な支援

学院の教育目的達成に向けて、保護者の立場から後援。学生・生徒・児童の正課・課外活動への援助をはじめ、学院・保証人・保護者間相互の交流推進と緊密化をはかるなど、さまざまな事業を展開いただいています。

関西学院同窓会

“Mastery for Service”の理念を社会で実践

学生時代をともに過ごした同窓生は、卒業後も活発に交流を深められています。国内 89、海外 29 の支部と 126 の公認団体が活動し、会員相互の研さんと親睦を深めつつ母校関西学院の発展に寄与いただいています。

CAMPUS

キャンパス

西宮上ヶ原キャンパス

神学部／文学部／社会学部／法学部／経済学部／商学部／
人間福祉学部／国際学部／言語コミュニケーション文化研究科／
経営戦略研究科／関西学院高等部／関西学院中学部

☎ 662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
☎ 0798-54-6017 (広報部)



西宮聖和キャンパス

教育学部／関西学院短期大学／
関西学院幼稚園(幼保連携型認定こども園)／
ばふら保育園(企業主導型保育事業)

☎ 662-0827 兵庫県西宮市岡田山7-54
☎ 0798-54-6500 (聖和キャンパス事務室)



神戸三田キャンパス

総合政策学部／理学部／工学部／
生命環境学部／建築学部

☎ 669-1330 兵庫県三田市学園上ヶ原1番
☎ 079-565-7600 (神戸三田キャンパス事務室)



西宮北口キャンパス

司法研究科／文学部心理科学実践センター

☎ 663-8204 兵庫県西宮市高松町5-22 阪急西宮ガーデンズ ゲート館
☎ 0798-31-0764



宝塚キャンパス

関西学院初等部

☎ 665-0844 兵庫県宝塚市武庫川町6-27
☎ 0797-81-5500



千里国際キャンパス

関西学院千里国際中等部・高等部／
関西学院大阪インターナショナルスクール

☎ 562-0032 大阪府箕面市小野原西4-4-16
☎ 072-727-5050



大阪梅田キャンパス

経営戦略研究科
昼夜開講制大学院授業／生涯学習／研究会活動

☎ 530-0013 大阪府大阪市北区茶屋町19-19 アプローチタワー 14階
☎ 06-6485-5611 (大阪梅田キャンパス事務室)



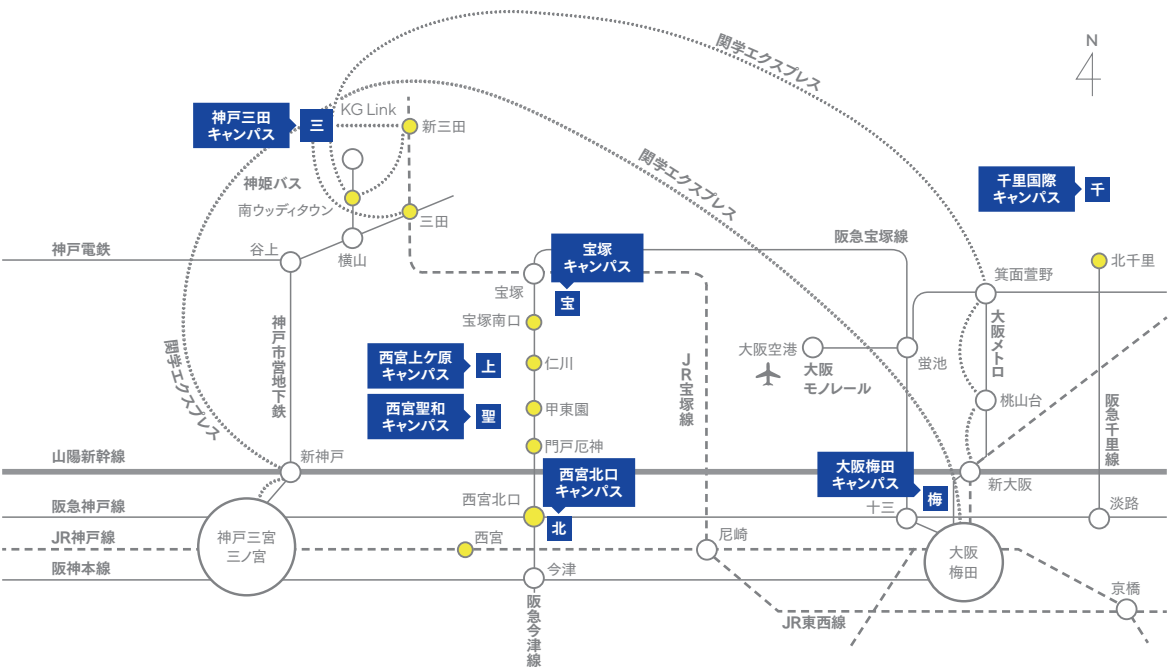
東京丸の内キャンパス

学生の就職活動支援／生涯学習／研究会活動

☎ 100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー 10階
☎ 03-5222-5678



アクセス



●西宮上ヶ原キャンパス

阪急「甲東園駅」から阪急バスにて約5分（「関西学院前」下車）

阪急「仁川駅」から徒歩12分

JR「西宮駅」から阪急バスにて約18分（「関西学院前」下車）

●西宮聖和キャンパス

阪急「門戸厄神駅」から徒歩13分

JR「西宮駅」から阪急バスにて約18分

(「上ヶ原二番町(関西学院大学西宮聖和キャンパス前)」下車)

●神戸三田キャンパス

JR「新三田駅」から神姫バスにて約15分（「関西学院大学」下車）

神戸電鉄「南ウディタウン駅」から神姫バスにて約10分（「関西学院大学」下車）

JR「三ノ宮駅」から神姫バスにて最速48分(「関西学院大学」下車)

大阪「梅田(ハービス大阪)」から神姫バス・阪神バスにて最速57分

(「関西学院大学」下車)

JR「新大阪駅」から神姫バスにて最速62分(「関西学院大学」下車)

千里ニュータウン(桃山台駅)から神姫バスにて最速48分(「関西学院大学」下車)

北大阪急行「箕面萱野駅」から神姫バスにて最速38分（「関西学院大学」下車）

●西宮北口キャンパス

阪急西宮北口駅東改札口すぐ

(阪急西宮ガーデンズゲート館内)

●宝塚キャンパス

阪急宝塚駅から徒歩15分

阪急宝塚南口駅から徒歩10分

JR宝塚駅から徒歩15分

●千里国際キャンパス

地下鉄御堂筋線・北大阪急行千里中央駅から

阪急バスにて約25分

阪急北千里駅から阪急バスにて約15分

●大阪梅田キャンパス

阪急大阪梅田駅から徒歩4分

大阪メトロ中津駅から徒歩4分

(アプロースタワー10階、14階)

●東京丸の内キャンパス

JR東京駅日本橋口直結(サピアタワー10階)



関西学院
KWANSEI GAKUIN

2025年6月 広報部発行